

平成28年度

業務実績・決算の概要

地方独立行政法人山口県立病院機構

目 次

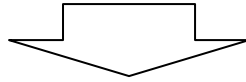
1. 平成28年度業務実績 .....	1
2. 平成28年度決算 .....	7
3. 平成28年度収支実績の前年度対比 .....	8
4. 平成28年度収支計画と収支実績の対比 .....	10

## 平成28年度業務実績

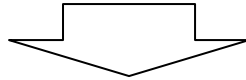
### 1 自己評価結果

#### (1) 自己評価の方法

- ① 年度計画の個別項目ごとに達成状況を5段階評価（5点、4点、3点、2点、1点）  
 ※3点が標準（達成度90～100%未満）



- ② 年度計画の4つの大項目ごとに達成状況を5段階評価（s、a、b、c、d）  
 ※bが標準（評点①の単純平均値2.7以上3.4以下）  
 （d/1.8以下、c/1.9～2.6、b/2.7～3.4、a/3.5～4.2、s/4.3以上）



- ③ 年度計画全体の達成状況を5段階評価（S、A、B、C、D）  
 ※Bが標準（評点②の加重平均値2.7以上3.4以下）  
 （D/1.8以下、C/1.9～2.6、B/2.7～3.4、A/3.5～4.2、S/4.3以上）

#### (2) 自己評価の結果

##### ◆全体的な状況

中期計画全体の進捗は「順調」（A評価）

##### ◆評定概要

区 分	評 価 項目数	評点別項目数					評 点 平均数	評 定
		5点	4点	3点	2点	1点		
業務の質の向上	42	2	25	15	0	0	3.7	a
業務運営の改善及び効率化	6	0	4	2	0	0	3.7	a
財政内容の改善	1	0	1	0	0	0	4.0	a
その他重要事項	2	0	1	1	0	0	3.5	a
全 体	51	2	31	18	0	0	3.8	A

※全体欄の評点平均値は、加重平均したもの。

## 2 主要な成果

### (1) 業務の質の向上

#### ① 医療の提供

##### ア 総合医療センター

- (ア) 「病棟再編」を実施し、臓器・疾患別センター化及び地域包括ケア病棟を設置。
- (イ) 合併症妊娠等のハイリスク妊娠・分娩において、循環器内科、脳神経外科等の診療科と連携して、高度で専門的な周産期医療を提供。
- (ウ) へき地等の地域医療を担う総合医を独自のプログラムにより積極的に育成。
- (エ) 平成 28 年熊本地震では、県からの要請を受け DMAT を派遣し、被災地での医療活動を実施。
- (オ) 第一種感染症指定医療機関として、新型インフルエンザ患者の発生を想定した訓練を実施。
- (カ) 地域がん診療連携拠点病院として、高度な放射線治療や化学療法を実施。
  - ・放射線治療人数 232 人（計画 230 人）
  - ・化学療法人数 1,188 人（計画 1,060 人）
- (キ) 消化器病センターにおいて、食道がん等の患者に対し術前より積極的ながんリハビリテーションを実施。
- (ク) 脳、神経、筋疾患に高度な医療を提供できる脳・神経疾患センターを設置。
  - ・脳血管内手術件数 66 件（計画 50 件）
- (ケ) 急性期の循環器疾患に対して、高度なチーム医療を提供するため心臓病センターを設置し、安全で高度な循環器医療を提供。
- (コ) 人工関節センターでの人工関節（股・膝）置換術件数は県内トップレベル。
  - ・人工関節（股・膝）置換術件数 388 件（計画 280 件）
- (サ) 院内で 365 日リハビリテーションを実施するほか、後方支援病院と連携した連続的リハビリテーションを実施。
- (シ) その他
  - アレルギーエデュケーターによる小児アレルギー診療体制の充実。
  - てんかん治療のため、最新の高密度脳波計を設置し、治療提供体制を整備。

##### イ こころの医療センター

- (ア) 平成 28 年熊本地震では、県からの要請を受け DPAT を派遣し、被災地での医療活動を実施。
- (イ) 高次脳機能障害支援拠点病院として、専門相談を受けるとともに、ボランティアの養成など地域の支援体制を強化。

##### ウ 医療従事者の確保、専門性の向上

- ・職種別人材の需給状況や医療機関の採用状況などの情報収集に努め、採用試験のあり方について検証し、採用試験の随時実施や試験時期の前倒しを行うとともに新たな学校推薦枠を設置。
- ・山口県人づくり財団の実施する研修を活用。

## エ 施設設備の整備

- ・「病棟再編」を実施し、臓器・疾患別センター化及び地域包括ケア病棟を設置。
- ・てんかん治療のため、最新の高密度脳波計を設置。（総合C）

## オ 医療安全対策、患者サービスの向上

- (ア) 全国自治体病院協議会が実施する臨床指標調査において、転倒・転落事故発生率の低さが両病院共にトップレベル。
- (イ) 医薬品の安全情報を掲載した広報誌を院内の医師や看護師、院外の薬局等に配布し、情報を提供。
- (ウ) 山口市及び周南市の同規模病院と感染防止対策に係る相互評価を実施。
- (エ) 「入退院支援センター」において、全診療科の予約入院患者等に対し、入院支援を実施。
- (オ) クリニカルパス委員会を毎月開催し、新規パスの作成及び使用を推進。
  - ・クリニカルパス使用件数 3,804 件（計画 3,700 件）（総合C）
- (カ) 摂食嚥下認定看護師と栄養サポートチームが協働し、脳・神経疾患センターでのサポートを強化するなどチーム医療を推進（総合C）  
長期入院患者の地域移行の推進のため、多職種支援チーム（地域生活支援MDT）による退院支援を実施。（こころC）
- (キ) 患者及び来院者のニーズを把握するため、患者満足度アンケートを実施。
  - ・総合センター患者満足度 97.9%（計画 95.0%）
  - ・こころの医療センター患者満足度 94.9%（計画 95.0%）
- (ク) 県民公開講座の開催、病院広報誌の定期発行、テレビ「やまぐち医療最前線」などにより、健康情報や高度・専門医療の現状などの情報を発信。

## カ 地域医療への支援

- (ア) 連携協力病院・診療所の新規開拓や「かかりつけ医紹介キャンペーン」など、医療機能の分化と連携を推進。  
地域医療支援病院の承認要件である紹介率は 77.9%、逆紹介率は 97.2%。
- (イ) 地域医療支援病院として、院内で行う症例検討会を地域の医療従業者に開放するなど県内医療機関への支援を実施。
  - ・高度医療機器共同利用総検査件数 1,009 件（前年度 746 件）（総合C）

## ② 医療に関する調査及び研究

- 疫学調査や臨床試験、多施設共同研究等を積極的に受託し、診断や治療方法の改善などに寄与。また、がん登録実務者を配置し、がんに関する外部の研究に参加。
- ・製造販売後調査 34 件、治験 1 件（総合C）
  - ・製造後販売調査 1 件（こころC）

## ③ 医療従事者等の研修

- 県内で診療に従事する医師の確保のため、初期研修医及び後期研修医の受入枠を拡大し、初期研修医 23 人、後期研修医 12 人を受け入れた他、県内の看護師養成学校の実習生、救急救命士、高校生などの職場体験なども受け入れ、地域医療従事者の育成を支援。

## (2) 業務運営の改善等

### ① 効率的・効果的な業務運営、経営改善

#### ア 経営管理体制の強化

第55回全国自治体病院学会において、看護部及び医師事務支援室の発表が優秀演題として選出され、学会月刊誌に掲載。

#### イ 組織・人員配置の弾力的運用

地域包括ケア病棟の開設に伴い、理学療法士及び作業療法士を増員するなど現状に即した対応を実施。

#### ウ 適切な予算執行

従来 of 医薬品値引率(13~14%)を大幅に向上させ、病院経営に貢献。自治体病院共済会の調査結果に照らしても全国で上位に位置。(値引率15%以上)

### ② 収入の確保、費用の節減・適正化

#### ア 収入の確保

診療部長会議等で分析結果を説明し、DPCデータを医療現場へ周知(総合C)

#### イ 費用の節減

全国の医療機関のデータに基づくベンチマークによる価格交渉などにより、適正な価格での契約・購入を実施。

- ・材料費対医業収益比率 28.9% (計画 29%以下) (総合C)

- ・材料費対医業収益比率 6.4% (計画 7%以下) (こころC)

## (3) 財務内容の改善

### 経常収支の改善

#### ア 収支実績

収支計画に対して実績(経常損益)が137,415千円上回り、計画を達成。

(千円)

	H28 計画	H28 実績	差引
総合C	189,644	354,006	164,362
こころC	21,875	△9,442	△31,317
機構本部	△139,779	△135,409	4,370
法人全体	71,740	209,155	137,415

#### イ 収入及び支出の状況

収入の部は、前年度に比べ、368,605千円増加。

- ・入院診療収益は、診療単価の増(総合C)等
- ・外来診療収益は、診療単価の増(総合C)、診療単価の増(こころC)等

《参考》

区 分		H27 実績		H28 実績	
		総合C	こころC	総合C	こころC
入院	延患者数(人)	155,241	61,715	151,715	59,199
	診療単価(円)	64,547	21,883	66,891	22,342
外来	延患者数(人)	212,031	33,527	210,009	32,509
	診療単価(円)	14,076	6,308	15,331	6,717

支出の部は、前年度に比べ、259,961千円減少。

・昨年度は、市場金利の低下に伴う退職給付費用を一括償還したため。

※退職給付費用影響額は617,747千円

#### ウ 経営指標の状況

- ・法人全体経常収支比率 101.2% (前年度 97.6%)
- ・総合医療センター経常収支比率 102.4% (前年度 99.2%)
- ・こころの医療センター経常収支比率 99.6% (前年度 94.4%)
- ・総合医療センター医業収支比率は 95.6% (前年度 92.4%)
- ・こころの医療センターの医業収支比率は 78.0% (前年度 74.7%)

(百万円)

	総合C	こころC	機構本部	法人全体
経常収益	15,153	2,026	171	17,350
営業収益	15,044	2,007	171	17,222
うち医業収益	13,647	1,542	0	15,189
営業外収益	109	19	0	128
経常費用	14,799	2,035	307	17,141
営業費用	14,774	2,006	307	17,087
うち医業費用	14,271	1,976	0	16,247
営業外費用	25	29	0	54
経常損益	354	△9	△136	209

#### (4) その他重要事項

##### ① 人事に関する事項

職種別人材の需給状況や医療機関の採用状況などの情報収集に努め、採用試験のあり方について検証し、採用試験の随時実施や試験時期の前倒しを行うとともに、新たに学校推薦枠を設置。

##### ② 就労環境に関する事項

職員満足度アンケート調査の結果をもとに、食堂の再開やトイレのペーパータオルの設置等の就労環境を改善。

### 3 対処すべき課題

#### (1) 県立病院として積極的に対応すべき医療の充実（総合C）

国において税と社会保障の一体改革とともに、医療機関の機能分化・連携の促進など医療制度改革、更に地域医療構想の策定も進められている。引き続き、国の社会保障改革の動向を注視しながら、当センターの使命である高度急性期病院としての医療機能の充実・強化を進めていく必要がある。また、築30年を経過し、老朽化と狭隘化が進んでいることから、病院建替を含めた総合的な施設整備計画の検討が必要である。

(2) 県立病院として積極的に対応すべき医療の充実（こころC）

重度慢性期患者の退院促進を行っているが、転出先施設の入所待ちが続いていることから、課題の解決を図り、今後、平均在院日数の短縮に向けて、引き続き、地域社会や関係機関との連携を図る必要がある。

(3) 医療従事者の確保（総合C）

医療の質の向上を図るため、高度専門医療を担う医師の確保に努める必要がある。また、急性期看護配置の安定に向けて、重症度や看護必要度に応じた傾斜配置や夜勤要員のための看護師を確保するとともに、リハビリ職員や病棟薬剤師などチーム医療を進めるための、質の高い医療従事者を確保する必要がある。



平成28年度決算

1 企業会計ベース

(1) 貸借対照表の要旨 (平成29年3月31日現在) (単位 百万円)

資産の部		負債及び純資産の部	
固定資産	13,966	固定負債	13,630
有形固定資産	13,890	資産見返負債	1,304
土地	3,734	長期借入金	2,009
建物	7,584	移行前地方債償還債務	4,504
器械備品	2,119	退職給付引当金	5,813
その他	453	流動負債	3,015
無形固定資産	73	一年以内返済予定	913
投資その他の資産	3	未払金	1,517
流動資産	7,180	その他	585
現金及び預金	4,335	【負債合計】	16,645
未収入金	2,766	資本金	3,144
その他	79	利益剰余金	1,357
		【純資産合計】	4,501
合計	21,146	合計	21,146

(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。以下同じ。

(2) 損益計算書の要旨 (平成28年4月1日～平成29年3月31日) (単位 百万円)

費用及び損益の部		収益の部	
営業費用	17,087	営業収益	17,222
医業費用	16,247	医業収益	15,189
一般管理費	305	運営費負担金収益	1,708
その他	535	その他	325
営業外費用	54	営業外収益	128
臨時損失	10	運営費負担金収益	28
当期純利益	199	その他	100
		臨時利益	0
合計	17,350	合計	17,350

2 官庁会計ベース

(単位 百万円)

収入の部		支出の部	
営業収益	17,121	営業費用	15,744
医業収益	15,213	医業費用	15,265
運営費負担金収益	1,708	一般管理費	300
その他	200	その他	179
営業外収益	134	営業外費用	53
運営費負担金収益	28	臨時損失	0
その他	106	資本支出	1,811
臨時利益	0	建設改良費	639
資本収入	554	償還金	1,172
長期借入金	549	資金収支	201
その他資本収入	5		
合計	17,809	合計	17,809

平成28年度収支実績の前年度対比

山口県立病院機構

【医業収益】

入院診療収益は、総合医療センターにおける入院期間の適正化や手術件数の増による診療単価の増により増加。

外来診療収益は、総合医療センターにおける外来化学療法の増や、こころの医療センターにおける薬価（統合失調症）の増による診療単価の増により増加。

【その他収益】

営業収益における運営費負担金は、こころの医療センターにおける精神病院の運営に要する経費の増により増加。

その他営業収益は、総合医療センターにおける治験等による受託収入の増により増加。

【医業費用】

給与費は、退職給付費用の減により減少。

材料費は、総合医療センターにおける外来化学療法の増による医薬品費の増、手術件数の増による診療材料費の増により増加。

経費は、委託費、水道光熱費等の減により減少。

減価償却費は、総合医療センターにおける手術室改修（H27）により増加。

【その他費用】

一般管理費は、退職給付費用の減により減少。

控除対象外消費税は、材料費の増により増加。

◆対比表（損益計算書ベース）

（単位 千円）

区 分	H27	H28	差額	主な増減内容（前年度対比）
収入の部	16,981,207	17,349,812	368,605	
営業収益	16,839,429	17,221,563	382,134	
医業収益	14,827,525	15,189,198	361,673	
うち入院診療収益	11,370,782	11,470,952	100,170	診療単価の増（総合C）
うち外来診療収益	3,196,109	3,437,954	241,845	診療単価の増
運営費負担金収益	1,699,724	1,707,691	7,967	精神病院の運営に要する経費の増（こころC）
その他営業収益	312,180	324,674	12,494	受託収入の増
営業外収益	141,534	128,249	△13,285	
運営費負担金収益	36,679	28,385	△8,294	借入利息の減
その他営業外収益	104,855	99,864	△4,991	
臨時利益	245	0	△245	
支出の部	17,414,040	17,151,046	△262,994	
営業費用	17,323,236	17,087,036	△236,200	
医業費用	16,442,427	16,247,489	△194,938	
給与費	8,926,421	8,575,335	△351,086	退職給付費用の減
(退職給付費用の影響額)	(564,862)	0	(△564,862)	
材料費	3,884,110	4,039,964	155,854	稼働（化学療法、手術）の増加に伴う増（総合C）
経費	2,237,825	2,204,408	△33,417	委託費、水道光熱費の減
減価償却費	1,332,115	1,372,971	40,856	手術室改修に伴う償却費の増（総合C）
その他医業費用	61,956	54,811	△7,145	
一般管理費	358,940	304,630	△54,310	退職給付費用の減
(退職給付費用の影響額)	(52,885)	0	(△52,885)	
控除対象外消費税等	521,869	534,917	13,048	材料費の増に伴う増
営業外費用	77,382	53,621	△23,761	借入利息の減
臨時損失	13,422	10,389	△3,033	
当期純利益 a	△432,833	198,766	631,599	
(退職給付費用の影響額) b	(617,747)	0	(△617,747)	

退職給付費用の影響額を除いた場合

当期純利益 a + b	184,914	198,766	13,852	
-------------	---------	---------	--------	--

(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

◆平成28年度収支実績の前年度対比表(部門別内訳)

前年度対比

(単位 千円)

区分	H27収支実績 B				H28収支実績 B				差額 (B-A)				主な増減理由(前年度対比)		
	総合C	ころろC	本部	計	総合C	ころろC	本部	計	総合C	ころろC	本部	計	総合C	ころろC	本部
収入の部	14,771,283	2,033,031	176,893	16,981,207	15,152,542	2,025,920	171,350	17,349,812	381,259	△7,111	△5,543	368,605			
営業収益	14,651,357	2,011,199	176,873	16,839,429	15,043,507	2,006,706	171,350	17,221,563	392,150	△4,493	△5,523	382,134			
医業収益	13,264,807	1,562,718	0	14,827,525	13,647,438	1,541,760	0	15,189,198	382,631	△20,958	0	361,673			
うち入院診療収益	10,020,274	1,350,508	0	11,370,782	10,148,313	1,322,639	0	11,470,952	128,039	△27,869	0	100,170	診療単価の増 (64,547円→66,891円)	入院患者の減 (61,715人→59,199人)	
うち外来診療収益	2,984,620	211,489	0	3,196,109	3,219,577	218,377	0	3,437,954	234,957	6,888	0	241,845	診療単価の増 (14,076円→15,331円)	診療単価の増 (6,308円→6,717円)	
運営費負担金収益	1,156,032	366,819	176,873	1,699,724	1,155,463	380,878	171,350	1,707,691	△569	14,059	△5,523	7,967		精神病院の運営に要 する経費の増	
その他営業収益	230,518	81,662	0	312,180	240,606	84,068	0	324,674	10,088	2,406	0	12,494	受託収入の増		
営業外収益	119,682	21,832	20	141,534	109,035	19,214	0	128,249	△10,647	△2,618	△20	△13,285			
運営費負担金収益	20,502	16,177	0	36,679	13,840	14,545	0	28,385	△6,662	△1,632	0	△8,294	借入利息の減	借入利息の減	
その他営業外収益	99,180	5,655	20	104,855	95,195	4,669	0	99,864	△3,985	△986	△20	△4,991			
臨時利益	245	0	0	245	0	0	0	0	△245	0	0	△245			
支出の部	14,893,871	2,154,453	365,716	17,414,040	14,808,627	2,035,660	306,759	17,151,046	△85,244	△118,793	△58,957	△262,994			
営業費用	14,839,124	2,122,204	361,908	17,323,236	14,774,037	2,006,240	306,759	17,087,036	△65,087	△115,964	△55,149	△236,200			
医業費用	14,350,141	2,092,286	0	16,442,427	14,271,589	1,975,900	0	16,247,489	△78,552	△116,386	0	△194,938			
給与費	7,420,352	1,506,069	0	8,926,421	7,178,603	1,396,732	0	8,575,335	△241,749	△109,337	0	△351,086			
(退職給付費用の影響額)	(445,090)	(119,772)	0	(564,862)	0	0	0	0	(△445,090)	(△119,772)	0	(△564,862)	退職給付費用の減		
給与費(影響除き)	6,975,262	1,386,297	0	8,361,559	7,178,603	1,396,732	0	8,575,335	203,341	10,435	0	213,776	職員増及び 給与改定による増	給与改定による増	
材料費	3,789,798	94,312	0	3,884,110	3,940,710	99,254	0	4,039,964	150,912	4,942	0	155,854	稼働増に伴う増(化学 療法、手術)	医薬品費の増	
経費	1,978,794	259,031	0	2,237,825	1,955,528	248,880	0	2,204,408	△23,266	△10,151	0	△33,417	委託費、水道光熱費の 減	委託費等の減	
減価償却費	1,107,981	224,134	0	1,332,115	1,148,635	224,336	0	1,372,971	40,654	202	0	40,856	手術室改修(H27)に伴 う償却費の増		
その他医業費用	53,216	8,740	0	61,956	48,113	6,698	0	54,811	△5,103	△2,042	0	△7,145			
一般管理費	0	0	358,940	358,940	0	0	304,630	304,630	0	0	△54,310	△54,310			
(退職給付費用の影響額)	0	0	(52,885)	(52,885)	0	0	0	0	0	0	(△52,885)	(△52,885)	退職給付費用の減		
一般管理費(影響除き)	0	0	306,055	306,055	0	0	304,630	304,630	0	0	△1,425	△1,425			
控除対象外消費税等	488,983	29,918	2,968	521,869	502,448	30,340	2,129	534,917	13,465	422	△839	13,048	材料費の増に伴う増		
営業外費用	45,133	32,249	0	77,382	24,499	29,122	0	53,621	△20,634	△3,127	0	△23,761	借入利息の減	借入利息の減	
臨時損失	9,614	0	3,808	13,422	10,091	298	0	10,389	477	298	△3,808	△3,033			
当期純利益 a	△122,588	△121,422	△188,823	△432,833	343,915	△9,740	△135,409	198,766	466,503	111,682	53,414	631,599			
(退職給付費用の影響額) b	(445,090)	(119,772)	(52,885)	(617,747)	0	0	0	0	(△445,090)	(△119,772)	(△52,885)	(△617,747)			

退職給付費用の影響額を除いた場合

当期純利益 a + b	322,502	△1,650	△135,938	184,914	<b>343,915</b>	<b>△9,740</b>	<b>△135,409</b>	<b>198,766</b>	21,413	△8,090	529	13,852			
-------------	---------	--------	----------	---------	----------------	---------------	-----------------	----------------	--------	--------	-----	--------	--	--	--

医業収支比率	95.40%	79.22%			95.63%	78.03%		
--------	--------	--------	--	--	--------	--------	--	--

(注)計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

## 平成28年度収支計画と収支実績の対比

山口県立病院機構

### 【医業収益】

入院診療収益は、入院患者の減により減少。  
 外来診療収益は、総合医療センターにおける外来化学療法の増により増加。

### 【その他収益】

その他営業収益は、総合医療センターにおける臨床研修医補助金の減により減少。  
 その他営業外収益は、総合医療センターにおける貸倒引当金戻入により増加。

### 【医業費用】

給与費は、支給人員の減により減少。  
 材料費は、総合医療センターにおける外来化学療法の増による医薬品費の増、手術件数の増による診療材料費の増により増加。  
 経費は、委託費、水道光熱費等の減により減少。  
 減価償却費は、総合医療センターにおける手術室改修により増加。  
 その他医業費用は、研修費の減により減少。

### 【その他費用】

臨時損失は固定資産除却費の減により減少。

### ◆対比表（損益計算書ベース）

（単位 千円）

区 分	収支計画	収支実績	差額	主な増減内容（計画対比）
収入の部	17,417,363	17,349,812	△67,551	
営業収益	17,302,027	17,221,563	△80,464	
医業収益	15,259,108	15,189,198	△69,910	
うち入院診療収益	11,593,884	11,470,952	△122,932	入院患者の減
うち外来診療収益	3,404,425	3,437,954	33,529	診療単価の増
運営費負担金収益	1,702,943	1,707,691	4,748	
その他営業収益	339,976	324,674	△15,302	臨床研修医補助金の減（総合C）
営業外収益	115,336	128,249	12,913	
運営費負担金収益	34,212	28,385	△5,827	借入利息の減
その他営業外収益	81,124	99,864	18,740	貸倒引当金戻入の増（総合C）
臨時利益	0	0	0	
支出の部	17,366,738	17,151,046	△215,692	
営業費用	17,278,592	17,087,036	△191,556	
医業費用	16,409,082	16,247,489	△161,593	
給与費	9,065,770	8,575,335	△490,435	支給人員の減
材料費	3,742,902	4,039,964	297,062	稼働増に伴う増（化学療法、手術）（総合C）
経費	2,226,028	2,204,408	△21,620	委託費等の減（こころC）
減価償却費	1,304,820	1,372,971	68,151	手術室改修に伴う増（総合C）
その他医業費用	69,562	54,811	△14,751	研修費の減
一般管理費	325,961	304,630	△21,331	
控除対象外消費税等	543,549	534,917	△8,632	
営業外費用	67,031	53,621	△13,410	借入利息の減
臨時損失	21,115	10,389	△10,726	固定資産除却費の減（総合C）
当期純利益	50,625	198,766	148,141	

（注）計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

◆平成28年度収支計画と収支実績との対比表(部門別内訳)

計 画 対 比  
(単位 千円)

区分	H28収支計画 A				H28収支実績 B				差額 (B-A)				主な増減理由(計画対比)		
	総合C	ころろC	本部	計	総合C	ころろC	本部	計	総合C	ころろC	本部	計	総合C	ころろC	本部
収入の部	15,086,477	2,141,607	189,279	17,417,363	15,152,542	2,025,920	171,350	17,349,812	66,065	△115,687	△17,929	△67,551			
営業収益	14,991,773	2,120,975	189,279	17,302,027	15,043,507	2,006,706	171,350	17,221,563	51,734	△114,269	△17,929	△80,464			
医業収益	13,597,272	1,661,836	0	15,259,108	13,647,438	1,541,760	0	15,189,198	50,166	△120,076	0	△69,910			
うち入院診療収益	10,182,405	1,411,479	0	11,593,884	10,148,313	1,322,639	0	11,470,952	△34,092	△88,840	0	△122,932	入院患者の減 (157,680人→151,715人)	入院患者の減 (61,715人→59,199人)	
うち外来診療収益	3,154,816	249,609	0	3,404,425	3,219,577	218,377	0	3,437,954	64,761	△31,232	0	33,529	診療単価の増 (15,009円→15,331円)	外来患者の減 (33,527人→32,509人)	
運営費負担金収益	1,134,685	378,979	189,279	1,702,943	1,155,463	380,878	171,350	1,707,691	20,778	1,899	△17,929	4,748	救急医療に要する経 費の増		
その他営業収益	259,816	80,160	0	339,976	240,606	84,068	0	324,674	△19,210	3,908	0	△15,302	補助金(研修医)の減	受託収入の増	
営業外収益	94,704	20,632	0	115,336	109,035	19,214	0	128,249	14,331	△1,418	0	12,913			
運営費負担金収益	18,738	15,474	0	34,212	13,840	14,545	0	28,385	△4,898	△929	0	△5,827	借入利息の減		
その他営業外収益	75,966	5,158	0	81,124	95,195	4,669	0	99,864	19,229	△489	0	18,740	貸倒引当金戻入の増		
臨時利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
支出の部	14,917,233	2,120,447	329,058	17,366,738	14,808,627	2,035,660	306,759	17,151,046	△108,606	△84,787	△22,299	△215,692			
営業費用	14,860,968	2,088,566	329,058	17,278,592	14,774,037	2,006,240	306,759	17,087,036	△86,931	△82,326	△22,299	△191,556			
医業費用	14,354,256	2,054,826	0	16,409,082	14,271,589	1,975,900	0	16,247,489	△82,667	△78,926	0	△161,593			
給与費	7,621,117	1,444,653	0	9,065,770	7,178,603	1,396,732	0	8,575,335	△442,514	△47,921	0	△490,435	支給人員の減	支給人員の減	
材料費	3,645,022	97,880	0	3,742,902	3,940,710	99,254	0	4,039,964	295,688	1,374	0	297,062	稼働増に伴う増(化学 療法、手術)		
経費	1,945,563	280,465	0	2,226,028	1,955,528	248,880	0	2,204,408	9,965	△31,585	0	△21,620	修繕費の増	委託費等の減	
減価償却費	1,082,257	222,563	0	1,304,820	1,148,635	224,336	0	1,372,971	66,378	1,773	0	68,151	手術室改修に伴う増		
その他医業費用	60,297	9,265	0	69,562	48,113	6,698	0	54,811	△12,184	△2,567	0	△14,751	研修費の減		
一般管理費	0	0	325,961	325,961	0	0	304,630	304,630	0	0	△21,331	△21,331			
控除対象外消費税等	506,712	33,740	3,097	543,549	502,448	30,340	2,129	534,917	△4,264	△3,400	△968	△8,632			
営業外費用	35,865	31,166	0	67,031	24,499	29,122	0	53,621	△11,366	△2,044	0	△13,410	借入利息の減		
臨時損失	20,400	715	0	21,115	10,091	298	0	10,389	△10,309	△417	0	△10,726	固定資産除却費の減		
当期純利益	169,244	21,160	△139,779	50,625	343,915	△9,740	△135,409	198,766	174,671	△30,900	4,370	148,141			

医業収支比率	94.73%	80.87%			95.63%	78.03%		
--------	--------	--------	--	--	--------	--------	--	--

(注)計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。